

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|--|--|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>1, 子どもの体力向上への取組みについて</p> <p>【質問趣旨】 小学校5年生及び中学校2年生に対して実施される、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の全国平均は、令和元年度より低下を続けており、令和6年度の結果において、中学校男子ではコロナ前の水準に戻ったが、小学校男子及び中学校女子では前年度からほぼ横ばい、小学校女子は引き続き低下している。体力低下による影響は、筋力や抵抗力の低下による病気やケガが多くなりやすいこと、また、活力が失われることで趣味や学業に取り組む気力が失われることなど子ども自身のみならず、 (→次ページ)</p> | <p>(1) 子どもの体力・運動能力の現状及び目標について</p> <p>※新体力テスト種目 ①50m走②立ち幅跳び③ボール投げ④20mシャトルラン⑤握力⑥上体起こし⑦長座体前屈⑧反復横跳び</p> | <p>① 子どもの体力が低下することで生じる子ども自身への影響と、社会全体への影響について、本市の見解を伺う。</p> <p>② 本市の令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果のうち、体力・運動能力に係る新体力テストの結果は、小学校では、ほとんどの種目で県平均をやや下回る結果となり、中学校では一部の種目において、県平均をやや上回ったが他の種目は平均的水準か県平均をやや下回る結果であった。加えて、愛知県の令和5年度の全国順位は、小学5年生男子47位、女子43位、中学2年生男子46位、女子45位である。全国的にも本市の平均値は低水準であることが分かるが、令和元年度からの推移を含め、結果をどのように分析をしているのか伺う。</p> <p>③ 「令和7年度瀬戸市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」において、評価指標の一つが「児童生徒質問用紙の、質問が変わったので計測不可能」との報告である。市として独自でも計測できるような取組みをすることが必要であったと考えるが、実施しなかった理由を伺う。</p> <p>④ 令和4年にスポーツ庁が策定した、第3期スポーツ基本計画では、新体力テストの総合評価A～Eの5段階のうち、C以上の児童80%、生徒85%が目標とされている。本市ではC以上の児童60%、生徒75%であった。目標達成に向けた取組みのスケジュールを伺う。</p> <p>⑤ 新体力テストの対象である小学校5年生、中学校2年生以外の学年において本市として体力・運動能力の目標は設定されているのか、設定している場合は、どのような点に重きを置いているのか伺う。</p> |

(1 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|---|---|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>医療費の増加や活動量の減少など社会全体に及ぶ。よって、本市の子どもたちの体力向上のため、取り巻く環境の改善を目指す必要がある。</p> <p>子どもの体力には、朝食の欠食、スクリーンタイム（テレビやゲーム機などの画面の視聴時間）の増加などの生活習慣や幼児期からの習慣づけや一週間の総運動時間などの運動習慣といった複合的な要因が関連しているが、今回は、学校での取り組み強化及び遊びを通じた運動可能な公園整備について質問をする。</p> | <p>(2) 学校での取り組みについて</p> <p>※瀬戸の運動促進プログラム</p> <p>小中学校、保育園が大学と連携して取り組む運動促進事業。小学校低学年へつなげ、活動を広げている。</p> | <p>⑥「令和7年度瀬戸市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」において、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きだ」と答えた児童生徒の割合は、小学校5年生で91.2%、中学校2年生で84.0%である。目標値は小学校5年生で95%、中学校2年生で90%であり、達成はしていないものの、高水準の結果である。運動が好きな子どもが多いにも関わらず、実技での数値が低いという結果は、体力向上に向けてのアプローチに課題があると考えられるが、見解を伺う。</p> <p>①子どもの体力向上における、学校の役割についての認識を伺う。</p> <p>②平成28年度から「瀬戸の運動促進プログラム」が実施されており、実施から10年ほど経過するが、事業についての効果を伺う。</p> <p>③現在「瀬戸の運動促進プログラム」は年間150,000円の予算で低学年向けに実施されている。小学校からの希望や今までの実施の有無によって、事業実施の対象の小学校を選択しているが、拡充への考えを伺う。</p> <p>④文部科学省の方針により、小学校5、6年生の体育は優先的に専科指導の対象とすべき教科とされている。</p> <p>本市では体育専攻の教員が在籍している場合や小中一貫教育の取り組みの中での中学校教員の乗り入れ授業を行う場合において、一部実施されていると聞いている。教員の配置により、実施の可否が決まる状況について、本市の見解を伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 1 番 | 黒柳 知世 議員 | |
|--------------|---------------------|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | (3) 環境の整備・機会の創出について | <p>⑤指導形態は、完全教科担任制、特定教科における教科担任制、学級担任間の授業交換、学級担任との Team Teaching など、実態に応じながら専科指導の充実を図ることができる。再任用を含めた人材の確保も教科担任制の在り方について示されているが、加配を含めた導入の方向性を伺う。</p> <p>①体力向上には、身近な公園で遊びを通して体を動かすことも必要な要素だと考えるが、見解を伺う。</p> <p>②第6次瀬戸市総合計画の政策5において、「子育て世帯等が安全で快適に遊べるよう公園の整備や維持管理、地域との協働による快適な公園づくりを進める」という施策の展開が示されている。近年の暑さにより、夏場は安全で快適に遊べるとは言えない状態であると考えるが、見解を伺う。</p> <p>③子どもたちが遊ぶ公園は、直射日光下が多く、遊具自体も高熱となっている状態であるが、本市の対策を伺う。</p> <p>④気温が暑い日が続き、公園の利用者数は減少していると推察できる。直射日光下と日陰を比較した場合、地面の温度は20度ほど差があるという検証結果も出ている。1日でも多く公園が利用できるようにするために、東屋だけではなく、シェードや屋根など日よけの設置が必要であると考えるが、導入の方向性を伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。